

県内特A建設業者売上高ランキング

(2015年11月期～2016年10月期)

当期	前期	会社名	所在地	決算期 (月)	当期売上高 (百万円)	売上高 増減率 (%)
1	1	(株) 國場組	那覇市	6	29,451	▲ 10.7
2	2	(株) 沖電工	那覇市	3	16,414	3.6
3	3	(株) 屋部土建	名護市	9	14,147	25.0
4	7	(株) 大城組	浦添市	3	13,907	71.2
5	4	(株) 大建建設	那覇市	6	12,498	11.1
6	5	金秀建設(株)	那覇市	3	12,419	11.8
7	6	(株) 仲本工業	沖繩市	10	9,633	13.0
8	8	(株) 太名嘉組	浦添市	6	7,669	6.3
9	12	(株) 大成ホーム	浦添市	3	6,100	17.0
10	10	(株) 新洋	浦添市	5	5,764	2.7
11	9	共和産業(株)	宮古島市	6	5,301	▲ 24.7
12	17	(株) 東江建設	浦添市	6	5,046	37.2
13	24	(株) 東恩納組	豊見城市	6	4,383	48.4
14	20	(有) 福地組	嘉手納町	12	4,251	28.0
15	15	(株) 沖創建設	那覇市	6	4,201	2.2
16	22	大晋建設(株)	那覇市	6	4,056	28.0
17	23	丸尾建設(株)	石垣市	7	3,816	26.1
18	28	上門工業(株)	沖繩市	6	3,568	32.5
19	35	(有) ツナミ組	名護市	6	3,473	52.1
20	21	(株) 德里産業	嘉手納町	6	3,437	5.2
21	18	先崎建設(株)	宮古島市	6	3,349	▲ 7.9
22	11	(株) りゅうせき建設	浦添市	3	3,347	▲ 39.9
23	13	(株) 照正組	与那原町	6	3,281	▲ 28.2
24	19	(株) 金城キョ建設	那覇市	6	3,256	▲ 7.5
25	16	(株) 与儀組	那覇市	6	3,108	▲ 18.3
26	29	(株) 南海建設	浦添市	3	3,052	16.3
27	38	(有) 大地建設	那覇市	5	2,916	30.6
28	33	(株) 大興建設	嘉手納町	6	2,906	21.0
29	36	琉球開発(株)	沖繩市	5	2,821	25.0
30	14	大鏡建設(株)	那覇市	7	2,817	▲ 31.8
31	27	(株) 東開発	名護市	6	2,660	▲ 5.7
32	39	旭建設(株)	北谷町	6	2,586	17.1
33	47	(株) 第一三興建設	糸満市	6	2,570	26.9
34	44	米元建設工業(株)	那覇市	6	2,502	19.7
35	31	(有) 北勝建設	国頭村	5	2,451	▲ 2.0
36	30	(株) 屋島組	那覇市	5	2,218	▲ 11.4
37	51	南洋土建(株)	那覇市	5	2,177	15.5
38	37	光南建設(株)	宜野湾市	6	2,137	▲ 5.1
39	40	平安座総合開発(株)	うるま市	6	2,132	▲ 1.6
40	26	(株) 富士建設	宜野湾市	7	2,087	▲ 28.4
41	52	(有) 明城建設	沖繩市	5	2,082	14.3
42	34	座波建設(株)	浦添市	2	2,080	▲ 10.3
43	53	(株) 丸元建設	那覇市	9	2,053	13.2
44	66	(株) 佐平建設	宮古島市	6	1,993	48.0
45	49	(株) 沖繩工設	浦添市	6	1,912	▲ 0.9
46	32	(株) 照屋土建	糸満市	6	1,888	▲ 23.5
47	25	太田建設(株)	沖繩市	6	1,861	▲ 36.4
48	41	(株) 丸憲	那覇市	6	1,858	▲ 14.1
49	50	(有) 内盛産業	沖繩市	5	1,857	▲ 2.5
50	55	(株) 呉屋組	糸満市	9	1,856	10.1
51	56	三善建設(株)	西原町	6	1,844	10.0
52	65	(株) 南成建設	那覇市	5	1,798	27.6
53	63	オパス(株)	宜野湾市	6	1,783	24.6
54	59	(株) 善太郎組	那覇市	5	1,766	8.5
55	92	(有) 山口建設	大宜味村	6	1,763	133.8
56	45	(株) 基土木	沖繩市	5	1,739	▲ 15.7
57	43	東洋コンクリート(株)	西原町	3	1,677	▲ 20.8
58	91	協栄海土木(株)	与那原町	8	1,672	113.8
59	54	仲程土建(株)	宜野座村	6	1,657	▲ 2.5
60	71	(株) 大寛組	那覇市	12	1,639	41.8
61	57	(株) 丸政工務店	金武町	6	1,629	▲ 2.6
62	58	(株) 共和技研	豊見城市	6	1,621	▲ 1.2
63	42	(株) 丸善組	うるま市	6	1,604	▲ 25.2
64	64	仲本建設(株)	沖繩市	6	1,593	11.9
65	62	(株) 金城組	南風原町	6	1,553	4.0
66	69	琉幸建設(株)	うるま市	6	1,520	20.8
67	60	(有) 国吉組	うるま市	6	1,448	▲ 5.7
68	90	極東建設(株)	那覇市	4	1,402	73.3
69	48	(株) 野原建設	那覇市	5	1,332	▲ 33.9
70	86	(株) 鏡原組	那覇市	5	1,321	45.8
71	70	(株) 明成建設	浦添市	6	1,317	7.0
72	84	牧港建設(株)	浦添市	6	1,315	34.9
73	46	(株) 高橋土建	那覇市	6	1,304	▲ 36.4
74	83	(有) くくる	名護市	6	1,287	31.9
75	72	國幸興産(株)	那覇市	6	1,149	2.4
76	68	(株) 小波津組	那覇市	6	1,125	▲ 13.3
77	101	(株) 共洋土建	那覇市	6	1,114	108.2
78	78	(株) 内間土建	浦添市	6	1,084	6.9
79	77	(株) 尚輪興建	宮古島市	5	1,066	3.6
80	75	(株) 南山開発	豊見城市	4	1,013	▲ 4.3
81	76	(株) 沖永開発	浦添市	6	1,008	▲ 4.7
82	89	(有) 大協建設	読谷村	5	963	16.4
83	74	(株) 古波蔵組	宮古島市	5	941	▲ 11.2
84	102	前田建設(株)	宜野湾市	6	918	85.1
85	100	(株) 丸孝組	大宜味村	5	917	51.6
86	82	光建設(株)	糸満市	5	902	▲ 7.7
87	67	(株) 喜屋武建設	浦添市	6	900	▲ 33.1
88	93	(株) 沖栄建設	那覇市	6	862	15.9
89	87	(有) 東洋建設	西原町	6	833	▲ 7.3
90	97	(有) 辰雄建設	糸満市	6	832	28.0
91	99	(株) 南海土木	石垣市	6	822	32.4
92	73	(株) ニシダ工業	那覇市	6	779	▲ 28.1
93	80	(株) 大智	南大東村	6	777	▲ 22.8
94	61	(株) 豊神建設	豊見城市	6	775	▲ 48.3
95	95	北部造園土木(株)	宜野座村	5	741	6.9
96	88	(株) 武国建設	名護市	6	725	▲ 14.9
97	81	(株) 丸石建設	うるま市	6	717	▲ 27.3
98	79	(有) 川上建設	沖繩市	6	688	▲ 31.7
99	96	(有) 呉開発	那覇市	6	653	▲ 1.8
100	94	(株) 新栄組	中城村	3	575	▲ 22.4
101	85	(株) 米正建設	那覇市	6	559	▲ 42.3
102	98	(株) とみしろ建設	那覇市	5	539	▲ 16.4
103	103	(株) 仲間組	金武町	12	505	53.5
					305,413	4.6

▲はマイナス

売上高最高3054億円

15帝国データ103社中101社が黒字

県内特A業ランク

帝国データバンク沖縄支店は7日、県の格付け最上級の特A建設業者売上高ランキングを発表した。2015年11月期～16年10月期決算の集計。対象103社の売上高合計は前期比4.6%増の3054億円で、過去最高の規模だった。純損益でも103社のうち101社までが黒字となっており、同支店は「資材価格高騰や労賃アップがあつたが、収益重視で無理な受注を避けた」とゼネコン側が利益率の高い工事を選択できている受注環境の良さを指摘した。

収益重視で工事選択

業者別では、国場組が売上高294億5100万円、20億円未満の会社が最多の60社となっている。上位6位の2位は沖電工で164億1400万円(3.6%増)、3位は屋部土建で141億4700万円(25.0%増)と続いた。上位3社は前期と同じだった。売上高が100億円を超えたのは前期より1社多い黒字会社は101社で、前期より14社増えた。黒字額の合計は74億9071万円と、前期に比べて16億1607万円拡大した。受注が拡大する要因には、好調な観光関連が引く張る形でホテルやマンションの建設需要が高まり、県外からの企業進出などで商業施設、飲食店の工事も増えていることがある。帝国データバンク那覇支店の内野順徳支店長は「民間の設備投資が増え、公共

ゆいレール1700万人台

16年度7%増、外国人伸び

沖縄都市モノレール乗客数の推移



沖縄都市モノレール(ゆいレール、美里義雅社長)は7日、2016年度の乗客数が前年度比11.6万7千866人増(7.22%増)の1732万3988人(前年比7.22%増)と発表した。ゆいレールの年間乗客数は7年連続で増加しており、特にこの2年は毎年100万人を超える顕著な伸びを見せている。増加の要因についてモノレール社は、県内経済や観光が好調な中で、大幅な利用増が見込まれる沿線のイベント時に天候の影響を受けなかったほか、特に外国人観光客の利用が増えていることなどを指摘した。

「報」開催



、沖縄市の

を批判的に読み解き活用する力」の重要性を伝えた。参加者はペアを組んで、新聞から気になる記事を見



沖縄ダイビングPR

工事も持続して発注が伸びており、受注環境は良好な状況が続くと見込まれる。収益は無理な受注を控えたこともあり、赤字企業が減り黒字企業が増えた」と分析した。

16年度県内倒産前年16%減46件
帝国データバンク沖縄支店は7日、2016年度の県内企業の倒産集計を発表した。倒産件数は前年度比16.4%減の46件、負債総額は同33.1%減の67億2800万円となった。集計方法を変更した05年度以降で件数は4番目に少なく、負債額は最も少ない。

観光業界や建設業界にけん引された県内の景況感が良く、建設業や製造業、卸業などで倒産件数が減少したため、前年度を下回った。10億円以上の大口倒産が減少した影響で、負債額がオキカを使用した。通勤定期などの利用が順調に推移している。駅別では全15駅で乗客数が増加した。対前年度比の伸び率は那覇空港駅の11.0%増が最大で、県庁前駅10.5%増、美栄橋駅9.8%増、牧志駅8.8%増と続いた。

モノレール社は「観光客がよく利用する駅の伸び率が高くなっており、観光客の利用増を示している。LCC(格安航空会社)の就航増など沖縄への外国人観光客が引き続き増加することに伴い、乗客数も増えるのではないかと指摘した。

も少なくなった。同支店は今後の見通しについて「県内景況が大きく後退する要素は少ないため、倒産件数は低水準の推移が見込まれる」と分析している。17年3月の倒産件数は5件で前年同月より横ばいだ

つた。負債総額は16億6000万円、前年同月(9億7400万円)より71%増えた。木製品卸売業の沖縄イゲトの倒産(負債額12億6千万円)があり、負債額は過去1年で2番目に多くなった。